



2023年12月15日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号：4588)
問 合 せ 先 取 締 役 吉村 圭司
(TEL.03-5472-1578)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年2月10日に公表しました2023年12月期の業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせします。

1. 通期の業績予想の修正について

(1) 業績予想の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2023年2月10日発表)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 —
今回予想値 (B)	63	△1,806	△1,775	△1,777	△92.20
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 2022年12月期	976	△1,204	△1,163	△1,148	△66.31

(2) 修正の理由

2023年12月期累計期間(2023年1月1日～2023年12月31日)は、業績に与える未確定な要素が多いことから、業績予想につきましては適性かつ合理的な数値の算出が困難な状況と考慮しており、開示を控えていました。

しかしながら、当社が現在交渉中のテロメライシンの国内販売提携先との契約締結に向けた状況などを考慮すると、2023年内の契約締結並びに契約締結に関連する売上高が発生する蓋然性が低下したため、既に開示しています業績予想を非開示から修正し、2023年12月期売上高として63百万円(百万円未満切捨て。以下同様)を見込みます。前年同期は976百万円の売上高を計上していましたが、中外製薬株式会社からのテロメライシン製法開発協力金収入などが消滅したため、2023年12月期売上高は減少しました。なお、テロメライシンの国

内販売提携先との交渉は継続しており、現在 2024 年第 1 四半期の契約締結に向けて交渉を進めています。

また、利益面につきましては、上記の売上高の減少に伴い売上総利益が前年同期の 338 百万円から 30 百万円へ減少する見込みです。さらに、2023 年 12 月期は、テロメライシンの商用製造に向けた製法開発や 2023 年 10 月に高い局所奏効率を示すトップラインデータを公表した食道がん Phase2 臨床試験など積極的な研究開発活動を進めました。そのため、研究開発費は、前年同期の 947 百万円から 1,224 百万円へ増加する見込みであり、研究開発費を含んだ販売費及び一般管理費は前年同期の 1,542 百万円から 1,836 百万円へ増加する見通しです。

その結果、2023 年 12 月期の業績予想を非開示から修正し、営業損失を 1,806 百万円、経常損失 1,775 百万円、当期純損失 1,777 百万円と見込みます。

なお、2023 年 12 月期通期決算は、2024 年 2 月 9 日に発表を予定しています。また、定時株主総会は 2024 年 3 月 28 日に開催する計画です。

以 上